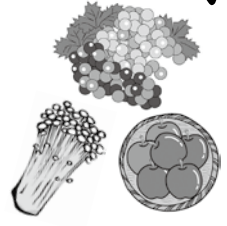


『売れ農』情報局



『夏は信州きのこカレーで元氣いっぱい大作戦』の参加に伴い、地産地消イベントを実施しました！



▲『旬ちゃん』と記念撮影



▲きのこカレー給食の様子

夏場に消費が低迷しがちな「きのこ」の消費拡大を図るため、地産地消「信州を食べよう」キャンペーン実行委員会の主催で、「きのこ」と「カレールー」を県内の保育園・幼稚園にプレゼントし、給食メニューとして提供してもらう地産地消の取り組みが行われて

います。『夏は信州きのこカレーで元氣いっぱい大作戦』と名付けられたこのキャンペーンに、市内11保育所が参加しました。参加に当たり、より一層の地産地消と食育の推進を図るため、松川保育園において地産地消イベントを実施しました。

イベントでは、きのこマスタースターから「きのこ」のお話を聞いた後、長野県の地産地消推進キャラクターの『旬ちゃん』と園児たちがクイズやゲームなどで触れ合いました。イベント終了後の給食では、園児たちが「きのこカレー」をおいしそうに食べていました。



合同金婚式



市では、合同金婚式を開催します。広報なかの7月号に申し込み用紙を挟み込みましたので、ご利用ください。

期日 9月28日(金)
時間 午前10時30分から

会場 アップルシティーなかの
対象 昭和37年1月1日から12月31日の間に結婚されたご夫婦
会費 1人2500円(ご夫婦で5000円) ※金婚式当日にお持ちください。
申込期限 8月17日(金)

その他 申込用紙は高齢者支援課(中野保健センター内)にあります。
問い合わせ・申し込み先 高齢者支援課長寿福祉係(中野保健センター内)
☎221111(内線243)
豊田支所地域振興課市民生活係
☎3111(内線132)



こんにちは 電話医療相談所です

Q 子どもの手足に発疹ができたため、医療機関を受診したところ「手足口病」と診断されました。口の中が痛むようですが、どうしたらよいでしょうか。

予防法・治療法

○咳やくしゃみ、便の中に排せつされたウイルスが口に入ることで感染することが多いため、手洗いをしっかりとすることが大切です。

○原因となつているウイルスに対する薬はなく、症状に応じた治療が必要になります。家庭でのケア

○口の中が痛む時は、熱いものや刺激の強いものを、固いものは避けましょう。

○脱水状態にならないよう水分の補給は充分に行いましょう。

○水疱がつぶれると、細菌に感染しますので、患部は清潔にしておきましょう。

A 手足口病は、夏風邪の一種で、ウイルスの感染によって起こる感染症です。感染すると、3〜5日間の潜伏期間の後、手の平や、足の裏、お尻、膝の裏、口の中などに発疹ができます。特に、口の中の発疹が破れると、食べ物や飲み物が染みて痛みますが、発疹は2〜3日で治りはじめ、一週間でよくなります。

原因となるウイルスは数種類あり、何回もかかることがあります。その中には脳炎、髄膜炎を起こすウイルスもありますので、高熱・頭痛・けいれんや嘔吐などの症状がある場合には、すぐに受診してください。また、子どもに多い病気ですが、大人も感染しますので注意が必要です。

電話医療相談所 ☎0300

午前8時30分から午後10時まで

土曜日・日曜日・祝日・12月30日〜1月3日は除く

医療に関する相談に電話でお答えします

教育なかの

(題字 豊田中学校3年生 森山 紗恵さん)

平成24年度 夏号
中野市教育委員会
平成24年8月発行

教育を拓く知恵

- 1 学校適正規模・適正配置の審議会設置
- 2 特集・つながる「生き方が変わる家庭学習」
- 3 学校じまん「永田小学校」



▲6月6日に教育委員が中間教室を視察

小・中学校の「適正規模・配置」を

検討する審議会設置

6月市議会定例会で、市長から提案した「中野市立小学校及び中学校適正規模等審議会条例」が可決され、6月25日に公布され施行しました。

この審議会の設置の趣旨は、市内の小中学校における少子化時代の学校教育のあり方について検討していただくため、教育委員会の諮問機関として設置したものであります。

委員は25人以内で、今後、教育委員会が委嘱します。また、この委員会では、1

クラスの適正人数、1学年の適正クラス数などを審議し、答申をします。

教育委員会は、この答申を尊重し、市内小中学校について検討を行い、今後の方針案を策定します。

この方針案については、その後、市民の皆さんへ説明して参ります。

公募委員の募集

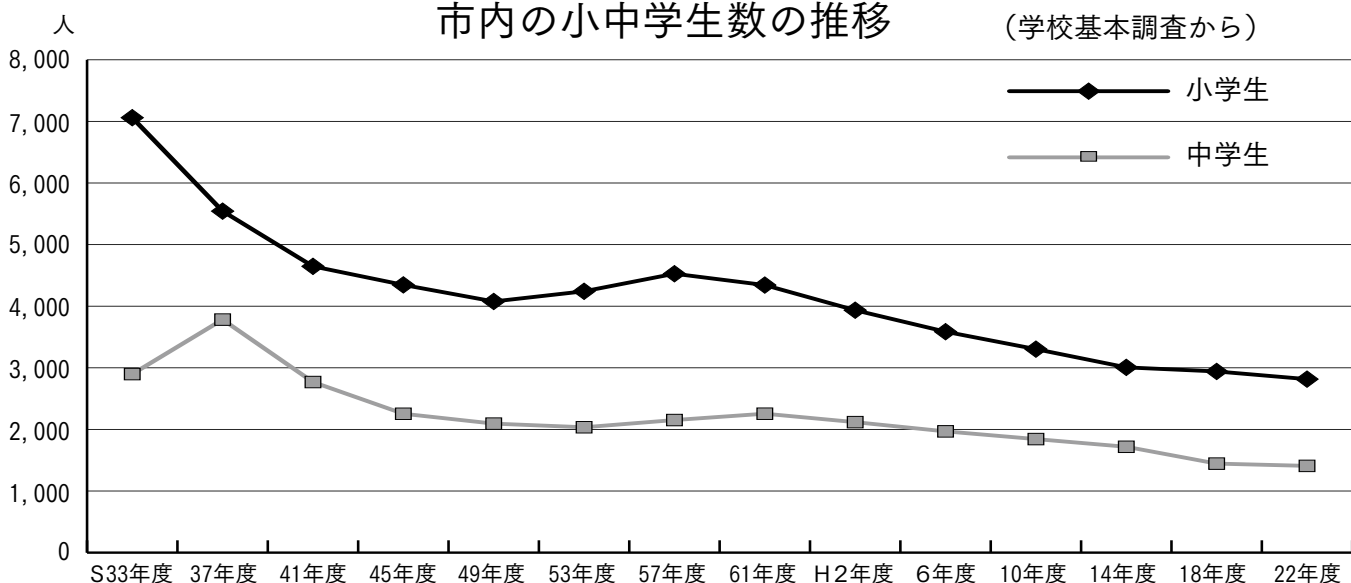
25人の委員のうち、公募委員5人を8月17日(金)まで募集しています。

応募資格は、18歳以上で市内に住民登録があり、平日の昼間の会議に出席できる方で、応募方法は、応募用紙に必要事項を記入の上、「少子化時代における学校教育」をテーマに、400字以内の作文を同封していただき、締め切り日までに教育委員会へお送りください。

※詳しくは、広報なかの8月号10ページをご覧ください。

市内の小中学生数の推移

(学校基本調査から)



	昭和33年度	昭和37年度	昭和41年度	昭和45年度	昭和49年度	昭和53年度	昭和57年度	昭和61年度	平成2年度	平成6年度	平成10年度	平成14年度	平成18年度	平成22年度
小学生	7,060	5,543	4,647	4,346	4,077	4,242	4,527	4,343	3,935	3,586	3,303	3,007	2,941	2,816
中学生	2,898	3,783	2,769	2,254	2,094	2,035	2,152	2,255	2,118	1,968	1,843	1,718	1,445	1,408
計	9,958	9,326	7,416	6,600	6,171	6,277	6,679	6,598	6,053	5,554	5,146	4,725	4,386	4,224